

心身ともに美しく

暮らせるまちづくり

平成29年度
一般会計 決算認定

歩くことによる健康 長寿を！

決算特別委員会では、各議員から執行状況等に関する多くの質疑がなされました。ここでは、一般会計決算での主な質疑を掲載します。

地方創生連携事業

問 どのような事業をして、その効果は。

答 本庄市等近隣の7市町で婚活イベントを2回実施し、104人が参加して19組のカップルが成立しました。また、2万人来場するふるさと回帰フェアへの出展のほか、移住定住モニターツアーを2回実施し53名の参加がありました。



婚活イベント

答 手づくりマルシェ&カフェを3回実施しました。事業費交付金は、テナント9セツトのほか、発電機や看板等の費用に充てました。

コミュニティ施設改善事業

問 施設改善事業は7件の実績があったが多くの要望があった場合は、どの程度対応できるのか。また、別の事業の自治総合センターコミュニティ助成金でも対応できるか。

答 集会所等の修繕費として費用の2分の1を補助し、1回の事業費100万円、補助額50万円が上限額です。修繕の要望が予算額を上回った場合は、緊急性を考慮して補正予算等で対応していきたいと考えています。また、自治総合センターコミュニティ助成金は、通称宝くじ助成金と言われ、主に集会所施設の備品整備に助成されるもので補助率は100%です。平成24年度の区長会で行政区の順番が決定しており、現在7番目まで実施しました。

問 手づくりマルシェ&カフェ事業 地域イベント事業補助金 100万円の決算内容は。

監視カメラ

問 交通安全対策として、交差点に設置した監視カメラの内容は。

答 監視カメラは、セブンスレイン前の十条交差点とアバンセ前の志戸川交差点の2カ所に設置しました。監視カメラが設置されていることが分かる案内板も設置しています。録画映像の容量については、2〜3日分のデータが書き保存されています。



監視カメラ

観光協会補助金

問 花火大会が中止になったが、観光協会に補助金があるか。

答 新制度では、農業委員11名、農地利用最適化推進委員11名となりました。新体制では農業委員と推進委員が2人1組となり、担当地区を定めて農地、パトロールや地域の農業相談を実施しています。メリットとしては、旧体制では担当地区を1人の農業委員が受け持っていました。2人で連携をして受け持つことにより、委員1人1人の負担は軽減されたと思います。

農業委員会について

問 農業委員会制度が変更になったが、メリットやデメリットがあるのか。

答 新制度では、農業委員11名、農地利用最適化推進委員11名となりました。新体制では農業委員と推進委員が2人1組となり、担当地区を定めて農地、パトロールや地域の農業相談を実施しています。メリットとしては、旧体制では担当地区を1人の農業委員が受け持っていました。2人で連携をして受け持つことにより、委員1人1人の負担は軽減されたと思います。

健康長寿埼玉モデル普及促進事業補助金

問 事業内容について。

答 平成27年度からの3カ年事業として、県のモデル事業「めざせ！毎日1万歩運動」をさらに拡大して生活習慣病予防と医療費の抑制を目的とした「とことんモデル事業」を実施しました。補助対象の内訳は、消耗品として歩数計・ポイント交換の商品券や景品、委託料として歩数計のID利用料やアプリの保守点検料、体力測定業務が平成29年度の新規参加者90人を合わせて、273人分、血液検査料282人分です。また、体組成計、血圧計、リーダーライター等の備品購入費です。

乳がん検診

問 乳がん検診について、テレビ等の報道で重要視されているが、どのように知らせているのか。

答 報道の影響で、保健センター事業に参加される方が増えています。

中学校余剰電力売電料について

問 設備の不具合の報告を昨年度から聞いている。現在も売電ができていないが対応の遅れについて。

答 これまでは保守が入って、おらず、設備故障の早期発見ができなかったため売電料が下がっています。6月に業者と修繕の契約をしています。機械は受注生産であるため現在製作中です。



中学校屋上に設置されている太陽光発電

消防団員

問 消防団員に欠員はないのか。また、女性団員及び町の職員の加入状況は。

答 消防団員の定員は102名で、平成30年4月1日現在2名の欠員となっています。県からも女性消防団員を採用するよう要請を受けていますが、加入していません。町の職員は17名が加入しています。



10月28日に行われた消防団特別点検

賛成討論

平成29年度は、緩やかな景気回復の予兆なのか、5年続いた町税減収がとまり、18億円を超える収入結果となりましたが、総額では、社会資本整備総合交付金や地方創生加速化交付金等の減に伴い、前年度比6.5%減の48億8,653万円となりました。国・県からの支出金が減少する中ではありますが、個人町民税の収納率が県内3位という結果を踏まえ努力が感じられます。

歳出では、歩くことによる健康長寿を柱とした「ミムリン健幸ポイント事業」で多くの参加者があり、生活習慣病や認知症が予防され、今後の医療費等の削減が期待されます。また、新たに防災拠点となる防災倉庫の建設に着手し、災害時の対応強化に取り組んでいることも評価します。予算執行では、一部の事業に多くの不用額が見られましたが、繰越予算を除いた実質の執行率は94.35%であり、おおむね適切な予算執行であると申し上げ賛成討論といたします。

交通安全対策等のため、監視カメラをもっと増やしてもらいたいね。



今年最後の手づくりマルシェ&カフェは、12月9日(日) J A埼玉ひびきの農協旧美里支店駐車場で開催されます。

